

2026年4月6日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀  
(コード番号: 4582)  
問合せ先 IR室 (TEL.03-5472-1125)

悪性リンパ腫に対する  
IV BCVの抗腫瘍効果ならびに作用機序・感受性バイオマーカーについて  
学術誌「BMC Medicine」に掲載

シンバイオ製薬株式会社(以下、シンバイオ製薬)は、シンガポール国立がんセンター(NCCS)との共同研究成果を、学術誌 BMC Medicineにおいて公表したことをお知らせします。本論文は、IV BCV(注射剤ブリンシドホビル)が悪性リンパ腫モデルにおいて見出された抗腫瘍効果と作用機序、さらには治療成功率を高めるバイオマーカーを解明したものであり、当社のがん領域におけるグローバル展開を強く支持する重要なマイルストーンとなります。

今回の公表論文では、BCVのNK/T細胞リンパ腫および末梢性T細胞リンパ腫に対する抗腫瘍効果の作用機序解析により、免疫療法との高い併用効果が示唆されました。これにより、単剤での使用にとどまらず、既存の治療法と併用できる可能性が示されています。また、BCVの感受性を左右するバイオマーカー群(TLE1等)の特定にも成功しました。予後不良の患者の中から効果が期待できる層をあらかじめ選別できるため、今後の臨床試験における成功確率の向上が期待されます。

NCCSメディカルオンコロジー部門の上級コンサルタント兼本研究の主任研究者であり、Duke-NUS Medical Schoolの准教授であるDr. Jason Chanは、「IV BCVにこれほどまでに新たな有用性を見いだせたことは、難治性リンパ腫治療にとっての大きな希望です。この科学的知見が実際の臨床現場へ届くプロセスに関わることに非常に大きな期待を寄せています」と述べています。

吉田文紀代表取締役社長兼CEOは、「この度の論文公表は、IV BCVががん領域において有用な価値を提供できることを証明するものです。積み上げられた科学的知見により、がん領域における開発を加速させ当社の成長戦略の新たな柱へと育てていきます」と述べています。

以上

【公表論文の情報】 Preclinical activity of brincidofovir in peripheral T-cell and NK/T-cell lymphoma. *BMC Med* (2026).

<https://doi.org/10.1186/s12916-026-04680-8>

## 注記

### 1. 悪性リンパ腫

NK/T 細胞リンパ腫と末梢性 T 細胞リンパ腫は悪性リンパ腫に分類され、いまだ治療法が確立しておらず、治療薬の開発が切望されています。

- **NK/T 細胞リンパ腫**：悪性リンパ腫に分類される希少がんの一つで、NK 細胞または T 細胞由来のリンパ腫です。リンパ節以外の場所に発生する節外性 NK/T 細胞リンパ腫は、鼻腔周囲や皮膚にでることが多く、腫瘍細胞への EB ウイルス感染が発症に深く関与しているとされます。この疾患は、日本・中国を含む東南アジアやラテンアメリカで比較的多く見られます。
- **末梢性 T 細胞リンパ腫 (PTCL)**：急速に進行するリンパ腫に分類される希少がんであり、多様な病型を含む疾患群です。一次治療として多剤化学療法や放射線療法が一般的に用いられますが、その治療効果は必ずしも十分ではありません。近年、再発または難治性の PTCL に対して複数の治療薬が臨床使用されるようになりましたが、未だ標準的な治療法が確立していません。

### 2. BCV の抗腫瘍活性の作用機序

BCV は、非臨床試験において複数のメカニズムを通じて強力な抗腫瘍活性を示すことが確認されています。その主な作用機序は、以下の 3 つに大別されます。

- DNA 損傷による腫瘍に選択的な細胞死の誘導
- MYC (細胞の増殖・分裂・代謝を制御する転写因子) 発現抑制による腫瘍増殖の抑制
- 腫瘍免疫を活性化することによる抗腫瘍免疫の増強

以上の機序が複合的に作用することにより、BCV は抗腫瘍効果を発揮すると考えられます。

### 3. バイオマーカー

タンパク質や遺伝子などの生体内物質を検査・測定し、体の状態や病気の有無、進行、治療効果などを客観的に示すことにより、病状の変化や治療効果の指標となるものです。がんの性質を治療前に調べ、薬の効果を予測して治療の方針を立てることもあります。

### 4. BMC Medicine 誌

Nature など国際的な科学・技術・医学雑誌を発行する Springer Nature Inc. が出版する生物・医学雑誌です。第一線の専門家による厳格な審査を経て選出された卓越した影響力のある研究成果を、広く生物医学に携わる読者にオープンアクセスで提供しています。(最近 5 年間のインパクトファクター：9.4)。

### 3本の治療領域を柱としたBCVの事業戦略

シンバイオ製薬は2019年9月、BCVのグローバルライセンスを取得して以来、3つの治療領域において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として世界最高レベルの研究機関と共同研究を進めてきました。現在、対象疾患領域として、第1の柱である造血幹細胞移植後のウイルス感染症領域をはじめ、第2の柱として血液がん・固形がん領域、第3の柱として脳神経変性疾患領域の3治療領域を中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることによりBCVの事業価値の最大化を目指しています。